

## 8章 割合とグラフ ～[1]割合の考え方～

## 割合

比べられる量が、もとにする量のどれだけにあたるかを表した数を、割合といいます。

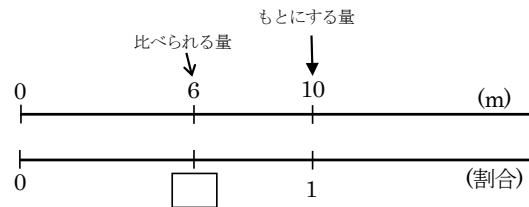
↓  
もとにする量を1としたとき、比べられる量がいくつにあたるか

割合は、次の式で求められます。 割合 = 比べられる量 ÷ もとにする量

(例1) 10mのリボンをもとにしたとき、6mのリボンの割合を求める

$$\begin{array}{ccccccc} 6 & \div & 10 & = & 0.6 \\ \text{比べられる量} & & \text{もとにする量} & & \text{割合} \end{array}$$

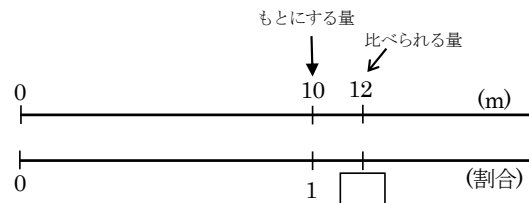
これを対応数直線で表すと



(例2) 10mのリボンをもとにしたとき、12mのリボンの割合を求める

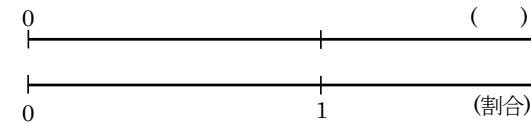
$$\begin{array}{ccccccc} 12 & \div & 10 & = & 1.2 \\ \text{比べられる量} & & \text{もとにする量} & & \text{割合} \end{array}$$

これを対応数直線で表すと



問い 次の割合を求めなさい。また、それぞれを対応数直線で表しなさい。

(1) 50をもとにしたときの、40の割合



(2) 8 kgをもとにしたときの、12 kgの割合



(3) かずお君の身長 140 cmをもとにしたときの、お父さんの身長 182 cmの割合。

※対応数直線は自分で初めから書いてみて下さい。